

重要な会計方針

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式 ……移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品、仕掛品、原材料 ……個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 ……平成19年3月1日以前に取得した有形固定資産
旧定率法
平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産
定率法

(2) 無形固定資産 ……定額法

(3) 長期前払費用 ……均等償却

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上していません。

(2) 返品調整引当金の計上基準

将来予想される売上返品による損失に備えるため、過去の返品率を勘案した返品による損失予想額を計上しています。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

当期純損益金額

第20期(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)の当期純損失は、136百万円であります。